独立行政法人国立青少年教育振興機構　国立夜須高原青少年自然の家

令和５年度「教師のためのチームビルディング研修」

～ チームビルディングプログラムの体験から学ぶ学級環境づくり～

【実施報告】

１　趣　旨　　チーム力を高めるチームビルディング（組織関係づくり、仲間づくり）について体験的に学び、具体的な考え方や手法を理解するとともに、学級の課題を効果的に解決するためのスキルを身に付ける。また、生活体験や交流等を通して、目標や課題、困難等の共有を行い、教師のつながりの醸成を図る。

２　主　催　　独立行政法人国立青少年教育振興機構　国立夜須高原青少年自然の家

３　後　援　　福岡県教育委員会

４　期　間　　令和６年１月２７日（土）～２８日（日）【１泊２日】

５　会　場　　国立夜須高原青少年自然の家

６　参加者　　９名

７　活動様子　　別紙参照

８　感　想

・参加は２度目でしたが、違ったアクティビティもあり、学び直すことができました。改めて、PA を通してつくる集団のあたたかさや高まりを感じることができたので、子ども達にも還元していきたいと思います。
・「１月の忙しい時期に…」と言われていましたが、新学期に向けての準備と考えるとても良いタイミングなのではないかと思いました。
・活動の意図がわかりやすく、とても勉強になりました。集団の発達段階のお話が今後の学級経営に活かせそうだと思いました。
・背中を押してくれたり、安心するように名前を呼んでいただいたりしたことがとてもありがたかったです。指導者として私が子どもの前に立った時の目標であったり、お手本にして実践したいと思いました。
・来年度また参加させて頂きたいし、ぜひ子ども達に取り組みを伝えていきたいです。

９　成　果

本事業を通して、参加者は実際にチームビルディングを体験することにより、目標に向かい、コミュニケーションを図りながらパフォーマンスを高めていく過程について理解を深めることができた。成功より成長を目指し、課題に対して主体的に関わること、自己の役割に応じて最善を尽くすことがパフォーマンスの向上につながることに気付くことができたと考える。振り返りでは Being を行い、未来肯定的にフィードバックし合うことで、認め合い、高め合う雰囲気の醸成や次に活かせる考えや行動を言語化することができた。

１泊２日の研修や交流の中で、参加者はそれぞれの日常課題を共有し、互いにアドバイスし合う姿が見られた。今後においても、ともに学び、つながり続ける意志が感じられ、本研修の趣旨である、学び、つながり続ける教師の育成を達成することができたと考える。

10　課　題

教員免許状更新講習の廃止から２年、教員の研修機会確保を目指して行ったが、参加者が少ない状況であった。今後、継続的に研修を行うためには、幅広く周知していくことや、ステップアップ編を設定する等、研修の質を高めることなどが必要である。また、教室や体育館ですぐにできるアクティビティはもちろん、運動場や校庭等でできるアクティビティの実践にも努めていきたいと考える。

【別紙】

７　活動様子